

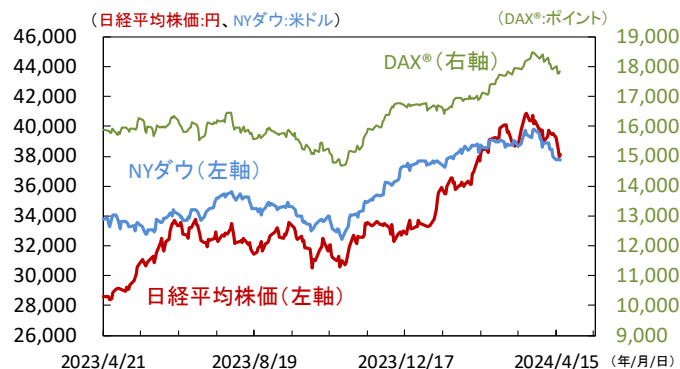
円相場は1米ドル154円台持続、米金融当局者から利下げ慎重論相次ぐ

主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	4月18日	4月17日	前日差
日本	日経平均株価(円)	38,079.70	37,961.80	117.90
	-CME日経平均先物(円)	37,790.00	37,780.00	10.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,677.45	2,663.15	14.30
	参考)東証REIT指数	1,784.75	1,791.24	-6.49
米国	NYダウ(米ドル)	37,775.38	37,753.31	22.07
	S&P500	5,011.12	5,022.21	-11.09
	-S&P500配当貴族指数	4,346.46	4,331.07	15.40
	ナスダック総合指数	15,601.50	15,683.37	-81.87
ドイツ	DAX®指数	17,837.40	17,770.02	67.38
英国	FTSE100指数	7,877.05	7,847.99	29.06
豪州	S&P/ASX200指数	7,642.10	7,605.60	36.50
中国	上海総合指数	3,074.22	3,071.38	2.84
香港	ハンセン指数	16,385.87	16,251.84	134.03
インド	S&P BSE SENSEX指数	72,488.99	休場	-
ブラジル	ボベスパ指数	124,196.18	124,171.15	25.03
先進国	MSCI WORLD	3,280.10	3,281.11	-1.01
新興国	MSCI EM	1,018.59	1,012.46	6.13
商品	(単位:米ドル)	4月18日	4月17日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	82.73	82.69	0.04
金	COMEX先物(期近物)	2,385.80	2,376.20	9.60
10年国債利回り	(単位:%)	4月18日	4月17日	前日差
日本		0.867	0.891	-0.024
米国		4.637	4.589	0.047
ドイツ		2.493	2.471	0.022
オーストラリア		4.305	4.383	-0.078
為替(対円)	(単位:円)	4月18日	4月17日	前日比%
米ドル		154.63	154.38	0.16
ユーロ		164.58	164.75	▲0.10
英ポンド		192.28	192.22	0.03
カナダドル		112.30	112.07	0.21
オーストラリア(豪)ドル		99.27	99.33	▲0.06
NZ(ニュージーランド)ドル		91.25	91.33	▲0.09
シンガポールドル		113.51	113.42	0.08
中国人民元		21.360	21.325	0.16
インドルピー		1.8507	1.8450	0.31
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9557	0.9515	0.44
メキシコペソ		9.053	9.098	▲0.50
ブラジルリアル		29.460	29.442	0.06
トルコリラ		4.753	4.767	▲0.29
ロシアルーブル		1.6332	1.6410	▲0.48

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でLSEGにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、LSEGにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載している場合があります。
 出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年4月18日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

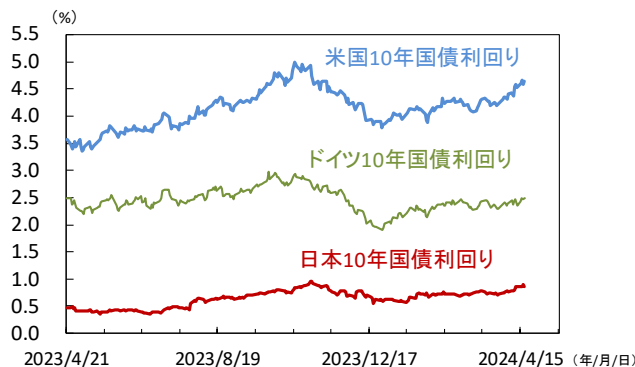
- 日本株反発。日経平均株価は2日ぶり38,000円台回復。
- 豪ドル低調。3月豪失業率は2月:3.7%→3.8%へ小幅悪化。他方、就業者数は前月差▲0.7万人と予想外の減少。
- 円相場は1米ドル154円台と円安地合い持続。米当局者発言を受け利下げ先送り観測高まる。ニューヨーク連銀総裁は利下げの緊急性は感じていない、ミネアポリス連銀総裁は年内金利据え置きの可能性があると発言。
- 米国株まちまち。半導体などハイテク株軟調。台湾積体回路製造(TSMC)が2024年半導体市場の成長率見通しを下方修正。米景気指標は強弱混在。4月フィラデルフィア連銀製造業景気指数は3月:+3.2→+15.5と急伸、4月13日終了週の新規失業保険申請件数は21.2万件と低水準維持し労働市場引き締め示唆。一方、3月景気先行指数は前月比▲0.3%と2カ月ぶり低下。同月中古住宅販売件数は同▲4.3%、住宅ローン金利上昇を嫌気か。

◆本日の注目点:

インフレ圧力残るなか、日銀の次の一手は?

植田日銀総裁が米ピーターソン国際経済研究所で講演。国内消費者物価が前年比2%を上回るなか、円安持続による輸入物価高圧力も根強く、来週26日発表の展望レポートで2024年度の物価見通し上方修正の観測が浮上。他方、民間心理悪化の兆しも見られるなか、市場が織り込む年内の追加利上げを示唆するか注目。(瀧澤)

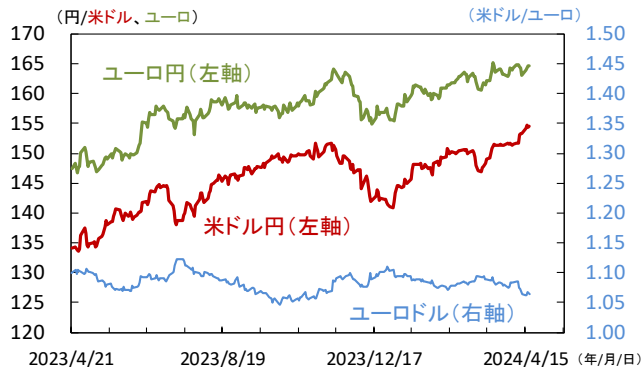
主要国金利の動き



注) 直近値は2024年4月18日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年4月18日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX (東証株価指数)、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」: 本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会